

みんなで作ろう安心の街

令和元年11月号 No. 64
(公財)宮崎県防犯協会連合会

宮崎県における特殊詐欺事件の発生状況

(令和元年10月末現在、暫定値)

1 認知状況

認知件数	前年同期比	被害金額	前年同期比
20	+3	2,696万円	+1,125万円

【前年同時期と比べた特徴的傾向】

- 認知件数では、架空請求詐欺、還付金詐欺が減少した一方で、オレオレ詐欺が急増し、また、融資保証金詐欺も増加したため、認知件数は20件で、前年同期比+3件である。
- 被害額については、オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺によるものが約9割を占めており、昨年と比べて約1,125万円増加している状況である。

2 手口別、交付形態別の被害状況

どのような手口で被害にあったか				被害金をだまし取られた方法		
手口別		件数	被害額(万円)	交付形態別	件数	被害額(万円)
特殊詐欺 (主要手口)	オレオレ	8	898	振込型	6	213
	架空請求	7	1,570	送付型	2	1,320
	融資保証金	2	37	現金手交型	2	350
	還付金	0	0	カード手交型	7	633
特殊詐欺 (その他の手口)	金融商品取引名目	0	0	電子マネー型	1	30
	ギャンブル必勝法名目	0	0	収納代行利用型	0	0
	異性交際あっせん名目	0	0	キャッシュカードすり替え型	2	150
	その他	1	40			
特殊詐欺(窃盗)	キャッシュカード詐欺盗	2	150			

【手口別、交付形態別の被害状況の特徴】

- 手口別では、オレオレ詐欺が最も多く、次に架空請求詐欺による発生が多い状況にある。
- 交付形態別では、カード手交型、振込型が多い。

3 年齢別、性別の被害状況

年齢別	被害者数	男性	女性	備考
80歳以上	7	0	7	オレオレ5、架空請求1、キャッシュカード詐欺盗1
70歳代	5	0	5	オレオレ3、架空請求2
65～69歳	1	0	1	キャッシュカード詐欺盗1
60～64歳	2	2	0	架空請求2
50歳代	1	1	0	融資保証1
40歳代	2	1	1	架空請求2
30歳代	2	2	0	融資保証1、その他1
29歳以下	0	0	0	
合計	20	6	14	

【年齢別、性別の被害状況の特徴】

- 年齢別としては、被害者数20名のうち、半数以上の13名が65歳以上の高齢者で、全て女性である。
- 性別では男性被害が6名(30%)、女性被害が14名(70%)となっている。

4 犯人からの電話に直接出ないための対策

- 在宅している時も留守番電話機能を活用しましょう。犯人も声を録音されると証拠を残すことになり、非常に嫌がります。留守番電話に録音された声を確認して、誰から架かってきた電話かを見極めた上で、落ち着いて対応することができます。
- 全国防犯協会連合会と警察庁が連携し、電話の相手に警告メッセージが流れる自動通話録音(警告)機や迷惑電話をブロックする電話機等(通称「優良防犯電話」)の推奨を行っています。詳しくは、全防連ホームページをご覧ください。